## ◎ワーキング・ホリデー制度のための査証料の相互免除に関する

# (略称)オーストラリアとのワーキング・ホリデー査証料免除取極

昭和五十五年十二月 十一 日 昭和五十五年十二月 昭和五十五年十一月二十六日 — 日 告示 東京で 効力発生 (外務省告示第四二七号)

	オー	0	7	c	_	4	9	9	1	日	
	オーストラリア側口上書	8	7 停	6 #⊟	5 ==	<b>4</b> 进	3	2	1	本側口	
オー	トラロ	**了の		手写	四内は	<b>作在</b>	中請者	重証の	ソーモ	上書	目
スト	アル	通生	11.	入日	伝令の	可の	自の託	申書	ヤング	# :	
ラリ		:		国者に	遵立	付工	学知	íĦ :	· +		次
アと	書			対す		及び	識し		小リデ		//
ワ	i			る価		延長	查証		1		
オーストラリアとのワーキング・ホリデー査証料免除取極		終了の通告	止	相手国入国者に対する便宜の供与	国内法令の遵守	滞在許可の付子及び延長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の発	査証の申請	ワーキング・ホリデーのための一次入国査証の無料発給		
グ・				供与			光給レ		о 0		
ホリデ	i	i	i	:		i	の関		次入		
ナー本							係:		国杳		
証料									証の		
免除									無料		
取極									発給		
						i					
							i	i			
				į							
										i	
		i	:	:			申請者の語学知識と査証の発給との関係	:	i		- 0
_	$\equiv$	二九	二九	二九	二九	二八	二八	二八	三七	上書	ページ
五		/ u	<i>,</i> u	<i>,</i> u	90	/ \	, \	/ \	u	ū	ン

3 2

1

8 7 6 5

(外務省 から在 京オーストラリア大使館あての口上

欧洋第八二号

## 上

もに、 有するワーキング・ホリデーのための制度を設けることを希望 することを同大使館に通報する光栄を有する。 十年十二月一日から相互主義に基づき次の措置をとる用意を有 暇の付随的側面として仕事に従事することを可能にする目的を 過ごすために日本国に入国し、かつ、 し、また、 活様式を理解するための一層広範な機会を提供することを希望 にオーストラリアの青少年に対し日本国の文化及び一般的な生 リアとの間の相互理解を促進するためオーストラリア市民、 密な協力関係を促進するとの精神の下に、 して、 オーストラリア市民の日本国への入国に関し、 日本国政府が、 オーストラリア市民が長期にわたり主として休暇を 在 本邦オー 日本国とオーストラリアとの間の一層緊 ストラリア大使館に敬意を表するとと 旅行資金を補うために休 日本国とオーストラ 千九百八

無料で発給する。 一年間有効なワー 日本国政府は、 次の各要件を満たす者に対し、 丰 ング・ホリデーのための一次入国査証を 発給日から

- (1) ٤ オー ストラリアに居住するオーストラリア市民であると
- (i.i) するとと。 一定期間日本国において主として休暇を過ごす意図を有

当局が年齢制限を三十才まで延長することに同意する場合 及び二十五才を含む。)であること(日本国政府の 査証申請の時の年齢が十八才から二十五才まで(十八才 権限ある

オーストラリアとのワーキング・ホリデー査証料免除取極

(Translation)

書

No. 82/EUC

appreciate the culture and general way of life of Japan for the purpose of promoting mutual underwith respect to the entry of Australian citizens the first of December 1980 the following measures a holiday for an extended period and also engage standing between Japan and Australia, and wishing citizens, particularly Australian youth, to of providing wider opportunities for Australian relations between Japan and Australia, desirous Japan, in a spirit of promoting closer co-operative compliments to the Embassy of Australia and has the into Japan: is prepared to take on a reciprocal basis from holiday in order to supplement their travel funds, in employment as Australian citizens to enter Japan primarily for which are intended to make it possible for to provide arrangements for the working holiday honour to inform the Embassy that the Government of The Ministry of Foreign Affairs presents its an incidental aspect of their

- charge, a single entry visa for the working holiday valid for a period of one (1) year from the date of issue to persons who satisfy each of the following requirements: The Government of Japan will issue, free of
- £ Be Australian citizens who are resident in Australia;
- (ii) Intend primarily to holiday in Japan for specific period;
- (iii) Be aged between eighteer (18) and five (25) years both inclusive at time of application for the visa, except twenty-

びの滞 関発と語申 請査 延付在 係給査学請 証 長与許 と証知者 の 及可 のの識の 申

(M) 保藤であり、(M) 保藤であり、(M) 日本国におけて 相当な資金を所があるためである。

「は、健康であり、かつ、健全な経歴を有すること。「相当な資金を所持すること。」「日本国における最初の滞在期間の生計を維持するための「何、日本国における最初の滞在期間の生計を維持するための「何」有効な旅券及び帰国のための旅行切符又はこのような切け、子を同伴しない者であること。

給を拒否されない。

3 申請者は、日本語の知識の欠如のみを理由として査証の発者による面接を受ける。

3による面接を受ける。

1にいう査証の申請は、在オーストラリア日本国外交使節

necessary, by

to determine their eligibility.

the

representatives of such mission

in those cases where the competent authorities of the Government of Japan agree to extend the limitation of age up to thirty (30) years;

Be persons who are not accompanied by

children;
Possess a valid passport and a return

(jv)

3

- travel ticket or sufficient funds with which to purchase such a ticket;
- (vi) Possess reasonable funds for their maintenance during the period of initial stay in Japan; and
- (vii) Have good health and a sound background.
  2. Application for the visa mentioned in paragraph l above will be required to be made to a diplomatic or consular mission of the Government of Japan in Australia and applicants will be interviewed, when
- 3. Applicants will not be refused the visa solely on the grounds of their lack of knowledge of the Japanese language.
- 4. The Government of Japan will grant Australian citizens who have the visa mentioned in paragraph 1 above permission to stay in Japan for an initial period of up to six (6) months, and will also grant, where appropriate, an extension of up to six (6) months. Further extension will be subject to the discretion of the competent authorities of the Government of Japan.

その後の延長は、日本国政府の権限ある当局の裁量による。

与し、また、適当な場合には、

に対し最初六箇月までの期間の日本国における滞在許可を付

六箇月までの延長を認める。

日本国政府は、1にいら査証を有するオーストラリア市民

5

日本国政府は、

ワーキング・ホリデー査証により日本国に

6

日本国政府は、

日本国における青少年団体、

文化団体及び

事しないことを要請する。

ワーキング・ホリデーのための制度の目的に反する仕事に従 入国したオーストラリア市民が日本国の法令を遵守し、かつ、

止

ことを奨励する。

日本国政府は、

停

又は一部を一時的に停止することができる。このような停止

公の政策上の理由により前記の規定の全部

国したオーストラリア市民のため適切な相談の便宜を与える 地域社会団体がワーキング・ホリデー査証により日本国に入

は、

する。 外交上の経路を通じてオーストラリア政府に直ちに通告

告終了 の 通

8 簡月の予告をもつて前記の諸規定を終了させることができる。 千九百八十年十一月二十六日に東京で 日本国政府は、 オーストラリア政府に対し、 書面による三

> of Japan and not to engage in employment that is contrary to the purpose of the working holiday 5. The Government of Japan will require Australian citizens who have entered Japan on the working holiday visa to comply with the laws and regulations arrangements.

6. The Government of Japan will encourage youth, cultural and community organizations in Japan to provide appropriate counselling facilities for Australian citizens who have entered Japan on the working holiday visa.

for reasons of public policy. Any such suspension will be notified immediately to the Government of Australia through the diplomatic channel. foregoing provisions in whole or in part temporarily The Government of Japan may suspend the

foregoing by giving three months' written notice to the Government of Australia. The Government of Japan may terminate the

Tokyo, November 26, 1980

上 ラリア側

(訳文)

À

266/80

在京 オ 1 ス ۲ ラリア大使館から外務省あての口上書)

青少年 解するため 日本国との間 H 緊密な協力関 K から相互主義に基づき次の措置をとる用意を有することを同省 民のオーストラリアへの入国に関し、千九百八十年十二月一日 ング・ホリデーのための制度を設けることを希望して、 面 ラリアに入国し、 「として仕事に従事することを可能にする目的を有するワーキ - ストラリア政府が .通報する光栄を有する。 本国民が長期にわたり主として休暇を過ごすためにオースト ォ ı に対しオーストラリアの文化及び一般的な生活様式を理 ス トラリ の一層広範な機会を提供することを希望し、 の相互理解を促進するため日本国民、特に日本国の 係を促進するとの精神の下に、 ア大使館は、 かつ、 `` Ł 旅行資金を補りために休暇の付 オーストラリアと日本国との間の一層 外務省に敬意を表するととも オーストラリアと また、 日本国 随的側 K.

1 給日から一年間有効なワー オーストラリア政府は、 キング・ホリデーのための一次入 次の各要件を満たす者に対し、発

給の入めデグワ 無国のー・ト 料査一のホキ 発証次たリン

(ゴ) 一定期間オーストラリ(五) 日本国に居住する日本(五) 日本国に居住する日本 意図を有すること。 一定期間オーストラリアにおいて主として休暇を過ごす

日本国に居住する日本国民であること。

(iii) 及び二十五才を含む。)であること(オーストラリア政府の 権限ある当局が年齢制限を三十才まで延長することに同 查証申請 の時の年令が十八才から二十五才まで (十八才

> NOTE NO. 266/80

primarily for a holiday for an extended period possible for Japanese nationals to enter Australia and wishing to provide arrangements for the mutual understanding between Australia and Japan, of life of Australia for the purpose of promoting youth, to appreciate the culture and general way for Japanese nationals, particularly Japanese and Japan, desirous of providing wider opportunities closer co-operative relations between Australia Government of Australia, in a spirit of promoting and has the honour to inform the Ministry that the The Embassy of Australia presents its compliments to the Ministry of Foreign Affairs the following measures with respect to the entry reciprocal basis from the first of December 1980 their travel funds, is prepared to take on a aspect of their holiday in order to supplement and also engage in employment as an incidental working holiday which are intended to make it Japanese nationals into Australia:

- of charge, a single entry visa for the working the date of issue to persons who satisfy each of holiday valid for a period of one (1) year from following requirements: The Government of Australia will issue, free
- $\Xi$ Japanese nationals who are resident Japan;
- (ii) for a specific Intend primarily to holiday in Australia period;
- twenty-five (25) years both inclusive Be aged between eighteen (18) and

意

オーストラリア政府は、

請査 証の申

2

(vi) るための相当な資金を所持すること。 健康であり、 かつ、健全な経歴を有すること。

申請者は、 団又は領事使節団に対して行われることが必要とされ、また、 1にいう査証の申請は、 必要なときは、 資格決定のため、 在日本国オーストラリア外交使節 同使節団の代表

3 拒否されない。 者による面接を受ける。 申請者は英語の知識の欠如のみを理由として査証の発給

関発と語申 係給査学請 と証知書 のの識の

agree to extend the limitation of age up to thirty (30) years; authorities of the Government of Australia except in those cases where the competent at the time of application for the visa,

(v) (iv)

する場合を除く。)。

子を同伴しない者であること。

符を購入するための十分な資金を所持すること。

オーストラリアにおける最初の滞在期間の生計を維持す

有効な旅券及び帰国のための旅行切符又はこのような切

Be persons who are not accompanied by

(iv)

- 3 which to purchase such a ticket; Possess a valid passport and a return travel ticket or sufficient funds with
- (47) maintenance during the period of Possess reasonable funds for their initial stay in Australia; and
- (11) Have good health and a sound background.
- or consular mission of the Government of Australia in Japan and applicants will be interviewed, when necessary, by l above will be required to be made to a diplomatic to determine their eligibility. Application for the visa mentioned in paragraph the representatives of such mission
- 3. Applicants will not be refused the visa solely on the grounds of their lack of knowledge of the English language.

し最初十二箇月までの期間のオーストラリアにおける滞在 1にいう査証を有する日本国民に ストラリア政府の権 of the competent authorities of the Government of Further extension will be subject to the discretion paragraph l above permission to stay in Australia Japanese nationals who have the visa mentioned in Australia. for an initial period of up to twelve (12) months. The Government of Australia will grant

オーストラリアとのワーキング・ホリデー査証料免除取極

である当局の裁量による。

可を付与する。その後の延長は、

オ |

5 を遵守し、 オース ォ 1 トラリアに入国した日 スト ラリ ア政 ワーキング・ホリデー 府 は ワ ! 本国 牛 民 ン が 1 オー のための ホ ストラリアの IJ デ ī 制度 査証により の 法令 目

によりオーストラリアに入国した日本国民のため適切 に反する仕事に従事しないことを要請する。 オーストラリア政府は、 文化団体及び地域社会団体がワー オーストラリアにおける青 キ ング・ホ ij ・デー な相談 少 査証 年 団

のす国相 供る者手 与便に国 宜対入

停

止

7 8 する。 うな停止は、 の便宜を与えることを奨励する。 定の全部又は一部を一時的に停止することができる。 オーストラリア政府は、 オーストラリア政府は、 外交上の経路を通じて日本国政府に直ちに通告 日本国政府に対し、 公の政策上の理由により前 書面による三 とのよ 記の規

重ね オースト 箇月の予告をもつて前記の諸規定を終了させることができる。 て外務省に向つて敬意を表する。 九百八十年十 ラリア大使館は、 一月二十六日に東京で 以上を申し進めるに際し、

ととに

告終了 の通

Japanese nationals who have entered Australia on ment that is contrary to the purpose of the working regulations of Australia and not to engage in employthe working holiday visa to comply with the laws and holiday arrangements. The Government of Australia will require

的

facilities for Japanese nationals who have entered Australia on the working holiday visa. Australia to provide appropriate counselling youth, cultural and community organizations in The Government of Australia will encourage

foregoing provisions in whole or in part temporarily for reasons of public policy. The Government of Australia may suspend the

such suspension will be notified immediately to the Government of Japan through the diplomatic foregoing by giving three months' channel. the Government of Japan. The Government of Australia may terminate the written notice

opportunity to renew to the Ministry of Foreign Affairs the assurances of its highest consideration. The Embassy of Australia avails itself of this

Tokyo, November 26, 1980

この取極は、

度のための査証料を免除することを定めたものである。

て休暇のために入国し、付随的側面として仕事に従事することを可能にするワーキング・ホリデー制 日本国政府とオーストラリア政府との間で相互主義に基づき、 両国 一の青少年が主とし